

# 3年 学年だより

第 25号 2020.2.6

## ～学年末テスト講評～

ついに最後の定期テストが終わりました。みんなは努力の成果が発揮できたでしょうか。一中で行う最後のテストだということもあり、「今回はいつも以上に気合入れて勉強するから！」とか「今回は絶対に〇〇点以上は取る！！」という力強い言葉が廊下にもよく響いていたように思います。

次はいよいよ受験です。これまで培ってきた力をしっかりと発揮できるように、体調を整えて臨めるようにしましょう。

まだ卒業まで授業は続きます。最後まで緩むことなく気を引き締めて頑張り切りましょう。

教科	学年末テスト講評
国語	全体にはよくできていました。現代文も古文も同じ文章を読むことはあまりないですが、読み取り方や、文章に書き表す時のポイントは同じです。まず一字一句間違えないように、丁寧に読むことをこころがけましょう。漢字は新出音訓の漢字ばかりでしたので、「読む」よりも「書く」方が簡単だったようです。ただ、間違った字を正しいと思い込んで書いていることもあるので、もう一度字の形を確認しておきましょう。
社会	今回はテストの範囲が広く、勉強するのに苦労した人が多かったのではないかと思います。しかし、基礎・基本的な語句や白プリから引用した問題を出題しているのです、しっかりと勉強に取り組んだ人にとっては比較的簡単だったかもしれません。 記述問題に関しては、「何を」「どうするか」ということを明確にして記述できるようにしましょう。また、資料活用問題は「その資料が何を意味しているのか」を考えましょう。問題文や資料などはすべて問題を読み解くためのヒントです。そのことを必ず頭に入れておくようにしましょう。 これで73期生のみんなに作るテストは以上になります。この三年間、よく頑張りました。これからも世の中すべてに興味を持ち、アンテナを様々なところに張り巡らせましょう。そして、常に考え続けることを大切にしてください。  「我思う、故に、我あり」 ルネ＝デカルト 『方法序説』より

教科	学年末テスト講評
数学	相似・円・三平方の定理と、公立高校の入試問題では、B問題で言えば③、④にあたる内容でした。⑩は難しかったですが、(1)はできてほしかったところです。大問が与えられた時、(1)はほとんどが点取り問題になりますので注意してください。今回できなかった問題は絶対にできるようにしてください。
理科	問題形式は今まで通りなので、特に言うことはありません。 今回取り扱った分野は、天体と環境です。天体は、未知が多い学問の1つです。教科書で学習した内容はほんの一部なので、これを機会に深く学習してみると、より好奇心がくすぐられますよ。また、環境はこれからの社会において、常に念頭に置いて考えなければならない学問です。君たちが社会で活躍する頃には、より意識し、理解しておかねばならない分野になるでしょう。 地球という大きな視点と、個人という身近な視点の両方をもって、今の君たちに何ができるかを自問し、君たちなりの答えを出してくれることを期待しています。
英語	最後の定期テストお疲れさまでした。今回は教科書内容はもちろん、そこから入試でよく問われるであろう部分に焦点を当てた出題をしました。特に連語・熟語に関しては、ここから、練習問題や過去問に取り組む中で、また目にするようになるでしょう。本番で対峙したときに、しっかりポイントを獲れるよう復習すること。 長文読解は、皆さんのこれまでの長文読解の積み重ねの度合いを測る内容及び構成となっていました。しっかり長文の読み方を理解している人はスムーズに文の流れを追っていくことができたはずですが、①問題文から、何の話か読み取る ②段落チェック段落ごとの小トピックを確認 ③登場人物確認 ④結論や小トピックのサポートとなる文のや例の数、内容。(2つ理由があります。3つすべきことがあると思います～)など。 長文を読む際にそれぞれ序盤で行うことを決めておけば、読まずに諦める・・・にはならないはずですが、もちろん読み方だけでなく、語彙力を伸ばしたり、文法の理解も必要ですが、逃げずに立ち向かってください！



昨日から学び、今日に生き、明日に期待する  
なにかやってみて、うまくいかないとすごいやになってしまう！  
そんなことでは、いつまでたってもなにもできないよ。

『スヌーピー』

『ドラえもん』